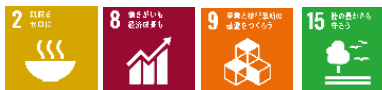


【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
5	ブランド糸島で活気あふれるまちづくり			511
政策		その他の特色		コストの方向性
1	農林水産業の振興			コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
1	農林水産業の活性化	ハード	継続	骨格・肉付け

【事業の内容】

事業名	スマート農業実装事業				担当部課	農林水産部	農業振興課	
事業目的	トラクター、コンバインなどの農機のガイダンスシステム及び自動操舵補助装置を整備し、集落営農組織、土地利用型農家、篤農家へ安価でリースする体制を整えるとともに、作業ログを収集し、作業効率の検証及び公表を行うことで農作業の省力化並びにRTK基地局の利用の拡大を図る。				事業主体	糸島農業協同組合		
事業内容	《導入機能・規模》 場所：糸島市内の集落営農組織、土地利用型農家、篤農家が所有するトラクター、コンバイン等の農機 規模：自動操舵システム 10セット(セット内容:GPSガイダンス、自動操舵、プラットホームキット、RTK用無線機) 機能：現在所有している農機に後付けすることで、ハンドル操作を自動化し、自動運転が可能となる 《整備手法》 JA糸島が一括購入し、リース事業として農家へ貸し出しを行う				実施方法	補助		
進捗状況・現状					進捗状況・現状	・農業従事者数 H27からの5年間→▲22.9% ・農業者の高齢化率 49.1% ・農地面積の耕作放棄地の割合 19.7% ・RTK基地局利用登録数 R3.4 → 5件		
事業期間	令和4年度				会計種類	一般会計		
総事業費	30,000	千円	(うち市予算化分) 30,000	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,000	千円	30,000	千円		6	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

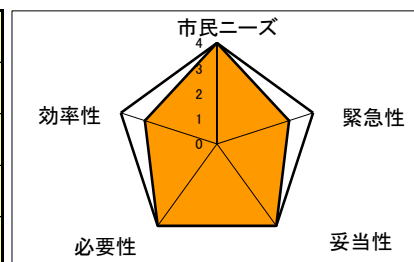
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
スマート農業を利用して作業する農地面積	50ha	100ha	200ha

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
農業就業人口一人当たりの農業産出額	536.5万円	556.1万円	575.6万円

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

スマート農業実装事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

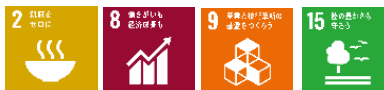
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	30,000			30,000	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		30,000			30,000	
主な事業費内訳		補助金				
従事職員数(人)					平均人件費	8,700
人件費 (B)					人件費割合 (%)	
総コスト (A+B)		30,000			総コスト計	30,000
実質地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	デジタル田園都市国家構想推進交付金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	デジタル田園都市国家構想推進交付金交付要綱 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金交付要綱			50% 残り全額	
県支出金						
地方債		(充当率 %)				
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	ガイダンスシステム+自動操舵装置セット (@2,800千円×0.9補助率×10台) =25,200千円 プラットフォームキット (@150千円×0.9補助率×10台) =1,350千円 GPSアンテナ+モニター (@33千円×0.9補助率×10台) =300千円 RTK用無線機 (@350千円×0.9補助率×10台) =3,150千円	30,000 千円
令和5年度		千円
令和6年度		千円

担当部長による 総合評価	<p>本事業の実施により、スマート農業の導入に関する金銭的及び心理的ハードルを下げることで、RTK基地局の利用者の増加や、その有効性を地域全体に普及させることができる。</p> <p>また、農作業の効率化や省力化が図られることで、農業者が高い生産性を維持でき、将来的には若手や女性農業者、新規就農者の増加による農業全体の活性化につながると考えられる。</p> <p>以上の理由から、多額の費用がかかるものの、それ以上の効果が期待できると考える。</p>
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
5	ブランド糸島で活気あふれるまちづくり			511
政策		その他の特色		コストの方向性
1	農林水産業の振興			コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
1	農林水産業の活性化	ハード	新規	

【事業の内容】

事業名	排水機場遊水池浚渫事業				担当部課	農林水産部	農地政策課		
事業目的	排水機場遊水池に堆積した土砂を浚渫し、排水機場の排水能力の確保を行う。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	緊急浚渫推進事業債を活用し、市単独事業により排水機場遊水池の堆積した土砂の浚渫を行う。 対象排水機場：寺山排水機場 緊急浚渫事業債：充当率100%、元利償還金に対する交付税措置率70%（※令和6年度まで） 令和4年度 調査・測量業務 令和5年度 設計業務 遊水池浚渫工事 令和6年度 遊水池浚渫工事				進捗状況・現状	排水機場は、県営事業を活用し、施設の更新等を実施しているが、県営事業の対象は機械設備や建屋等であり、遊水池の浚渫は今まで実施できていない状況である。			
事業期間	令和4年度～令和6年度				会計種類	一般会計			
総事業費	105,500	千円	(うち市予算化分)	105,500	千円	予算科目	款	項	目
		千円			千円		6	2	6
昨年度の実施計画に計上した総事業費		千円			千円				

【担当課による評価】

◆活動指標

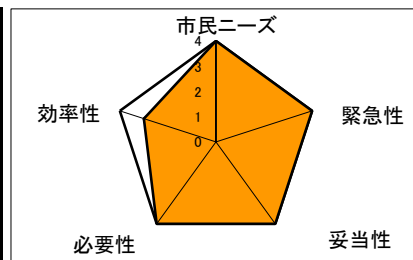
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
整備実施箇所累計	0箇所	0箇所	1箇所

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
農業就業人口一人当たりの農業産出額	536.5万円	556.1万円	575.6万円

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性 (費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	①市民生活に支障が出ており、すぐに行うべき。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

排水機場遊水池浚渫事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

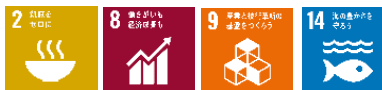
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	7,500	47,500	40,500		95,500
	その他					
	一般財源 (a)	500	5,000	4,500		10,000
事業費 (A)		8,000	52,500	45,000		105,500
主な事業費内訳		測量設計費	実施設計費 工事費	工事費		
従事職員数(人)		0.1	0.3	0.3	平均人件費	8,700
人件費 (B)		870	2,610	2,610	人件費割合 (%)	5.5
総コスト (A+B)		8,870	55,110	47,610	総コスト計	111,590
実質地方負担	交付税措置額	5,250	33,250	28,350		-
	一般財源充当額 (b)	2,250	14,250	12,150		28,650
	(a+b)	2,750	19,250	16,650		38,650
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金						
地方債	緊急浚渫推進事業債	令和4年度地方債同意等基準 (令和4年度総務省告示第125号)		(充当率100%)	70%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	遊水池測量委託 8,000千円(起債7,500千円) ※発注のための単独費含む	8,000 千円
令和5年度	遊水池設計委託 7,500千円(起債7,000千円) 遊水池浚渫工事 45,000千円(起債40,500千円) ※発注のための単独費含む	52,500 千円
令和6年度	遊水池浚渫工事 45,000千円(起債40,500千円) ※発注のための単独費含む	45,000 千円

担当部長による 総合評価	排水機場は、農地の湛水防除機能だけにとどまらず、近年は市街地の浸水対策としても重要な施設である。排水機場遊水池に堆積した土砂の浚渫により、排水能力を確保することで、農作物の生産性の向上を図ることができる。近年の大雨等による浸水対策を進めていく中でも、今後必要である事業であり、また地元住民からの要望も多いことから、起債事業を活用し、是非実施すべきである。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
5	ブランド糸島で活気あふれるまちづくり			511
政策		その他の特色		コストの方向性
1	農林水産業の振興			コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
1	農林水産業の活性化	ハード	継続	

【事業の内容】

事業名	福岡県水産業振興対策事業				担当部課	農林水産部	水産林務課	
事業目的	作業の効率化、安全性の確保などによる労働環境の改善とコストの削減による所得の向上を図り、漁業を魅力ある職場への転換を進めるため共同利用施設を整備する。				事業主体	糸島漁業協同組合		
事業内容	令和4年度 福吉漁港:3t保冷トラック(運搬車)1台、出荷資材施設1棟 船越漁港:漁具倉庫改修 姫島漁港:鮮魚運搬船クレーン整備 令和5年度 船越漁港:漁具倉庫改修、3t保冷トラック(運搬車)1台 令和6年度 深江漁港:漁具倉庫改修 岐志漁港:漁具倉庫改修				実施方法	補助		
事業期間	平成27年度～令和6年度				進捗状況・現状	(令和2年度実績) 野北:漁具倉庫改修 岐志:3t保冷トラック(運搬車)1台 芥屋:給油施設改修工事 (令和3年度実績) 岐志:製氷販売管理装置更新 野北:船揚げ場施設改修工事 加布里:保冷トラック(運搬車)1台、漁具倉庫改修 姫島:漁具倉庫改修		
総事業費	49,022	千円	(うち市予算化分) 11,858	千円	会計種類	一般会計		
昨年度の実施計画に計上した総事業費	46,352	千円	11,017	千円	予算科目	6	4	2

【担当課による評価】

◆活動指標

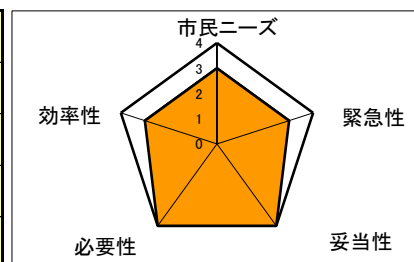
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
整備した施設	26箇所	32箇所	37箇所

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
漁業1経営体当たりの水揚げ金額	589.0万円	621.4万円	653.8万円

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	②やや高い



【事業費】

福岡県水産業振興対策事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	(11,757)	(7,349)	(5,825)	(24,931)	
	地方債					
	その他	(6,486)	(3,675)	(2,913)	(13,074)	
	一般財源 (a)	5,272	3,674	2,912	11,858	
事業費 (A)		(18,243) 5,272	(11,024) 3,674	(8,738) 2,912	(38,005) 11,858	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費 (B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合 (%)	30.6
総コスト (A+B)		7,012	5,414	4,652	総コスト計	17,078

実質地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					

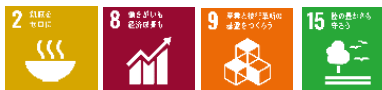
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等	補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金			
県支出金	福岡県水産業振興対策事業	福岡県水産関連事業費補助金交付要綱	50%
地方債		(充当率 %)	
その他	糸島漁業協同組合負担金		25%

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	鮮魚運搬トラック(福吉) 6,400,000円÷2(県費)÷2=1,600,000円 出荷資材施設(福吉) 7,270,000円÷2(県費)÷3=1,211,000円 漁具倉庫改修(船越) 6,515,000円÷2(県費)÷2=1,629,000円 鮮魚運搬船クレーン整備(姫島) 3,330,000円÷2(県費)÷2=832,000円	5,272 千円
令和5年度	漁具倉庫改修(船越) 8,098,000円÷2(県費)÷2=2,024,000円 鮮魚運搬トラック(船越) 6,600,000円÷2(県費)÷2=1,650,000円	3,674 千円
令和6年度	漁具倉庫改修(深江) 6,650,000円÷2(県費)÷2=1,662,000円 漁具倉庫改修(岐志) 5,000,000円÷2(県費)÷2=1,250,000円	2,912 千円

担当部長による 総合評価	これらの施設の改修や車輛の更新をすることで、組合の漁労活動の作業効率の向上や安全性の確保、コスト削減ができる。加えて、漁獲物の鮮度保持を図ることができ、販売価格の向上につながり漁家所得の向上にもつながる。その結果、漁業生産基盤が整うとともに、漁業の成長産業化を進めることができる。 また、姫島地区の鮮魚運搬船については、運搬の要のクレーン部分に不具合が発生していることが判明したため、早急な更新が必要である。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
5	ブランド糸島で活気あふれるまちづくり				511
政策		その他の特色			コストの方向性
1	農林水産業の振興				コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
1	農林水産業の活性化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	農村環境整備事業				担当部課	農林水産部	農地政策課	
事業目的	農村生活環境改善のために、ため池及び農業用排水路等の整備改善を行う。				事業主体	糸島市		
事業内容	県単補助事業(補助率4割)による農業用施設(水路、ため池、井堰等)の改良工事を行う。 市の負担を軽減するために高額となる工事を対象とする。 ・水路改良工事 ・井堰改良工事 ・ため池改良工事 緊急自然防止対策事業債: 充当率100%、元利償還金に対する交付税措置率70%(令和7年度まで)				進捗状況・現状	平成29年度 水路1箇所、井堰3箇所 平成30年度 水路1箇所、井堰2箇所 令和元年度 水路1箇所、井堰4箇所 令和2年度 水路2箇所、ため池1箇所 令和3年度 水路1箇所、井堰4箇所		
					実施方法	直営		
事業期間	平成23年度～令和6年度				会計種類	一般会計		
総事業費	217,038	千円	(うち市予算化分) 217,038	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	203,012	千円	203,012	千円		6	2	6

【担当課による評価】

◆活動指標

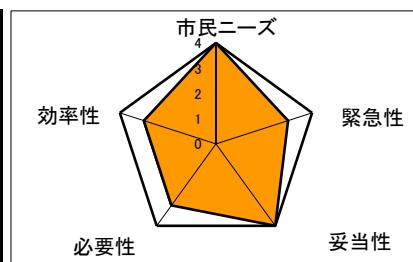
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
整備実施箇所累計(箇所)	42箇所	47箇所	55箇所

◆成果指標

指標	基準値(R1)	当該年度目標値	目標値(R7)
農業就業人口一人当たりの農業産出額	536.5万円	556.1万円	575.6万円

◆事業の必要性など

事業の必要性	②必要な事業であり、ぜひ実施したい。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

農村環境整備事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	7,300	8,000	8,000	23,300	
	地方債	9,600			9,600	
	その他	535	600	600	1,735	
	一般財源 (a)	1,601	12,940	12,940	27,481	
事業費 (A)		19,036	21,540	21,540	62,116	
主な事業費内訳		工事費	工事費	工事費		
従事職員数(人)		0.3	0.3	0.3	平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610	2,610	2,610	人件費割合 (%)	11.2
総コスト (A+B)		21,646	24,150	24,150	総コスト計	69,946
実地方負担	交付税措置額	6,720			-	
	一般財源充当額 (b)	2,880			2,880	
	(a+b)	4,481			4,481	
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金	福岡県農業農村性総合事業 (農村環境整備事業) 補助金	福岡県農業農村整備総合事業補助金交付要綱 (平成18年8月1日18農整第666号)			事業費の40%	
地方債	緊急自然災害防止対策事業債	令和4年度地方債同意等基準 (令和4年総務省告示第125号) (充当率100%)			70%	
その他	分担金	糸島市農漁業用施設工事分担金徴収条例			市負担額の5%	

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	農業用施設改良工事 18,000千円【県補助金7,300千円、市費10,700千円】 単独費繰足し分 1,000千円(分担金535千円) 連合会賦課金 18,000×0.2%=36千円	19,036 千円
令和5年度	農業用施設改良工事 20,000千円【県補助金8,000千円、市費12,000千円】 単独費繰足し分 1,500千円(分担金600千円) 連合会賦課金 20,000×0.2%=40千円	21,540 千円
令和6年度	農業用施設改良工事 20,000千円【県補助金8,000千円、市費12,000千円】 単独費繰足し分 1,500千円(分担金600千円) 連合会賦課金 20,000×0.2%=40千円	21,540 千円

担当部長による 総合評価	農業生産者が高齢化、減少している中、農業用施設の老朽化や破損に伴う改良工事の要望が多く、施設の整備を行うことにより、農業生産者の維持管理の軽減と効率化を図る。また、これにより農作物の生産性の向上を図ることができ、本市の農業振興を進めるうえで必要な事業である。
-----------------	---